

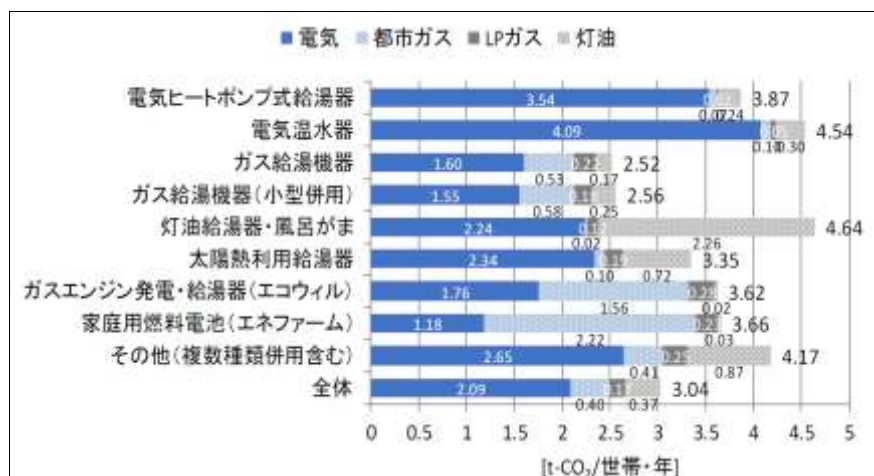
このたびの台風 15 号、19 号により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

**給湯機器の CO2 排出量、電気 HP はガスの 1.5 倍
環境庁調べエネ消費、戸建て多いエネファーム最多**

環境省が 9 月 30 日に公表した 2018 年度「家庭部門の CO2 排出実態統計調査」の結果（速報）によれば、使用している給湯機器・システム別の 1 世帯あたりの年間 CO2 排出量（t-CO2）は、ガス給湯機器の 2.52 トンに対し、電気ヒートポンプ給湯器は 1.5 倍の 3.87 トン、電気温水器は 1.8 倍 4.52 トンに上がることがわかりました。全体平均では 3.04 トン。一方、年間エネルギー消費量（熱量ベース）はエネファームが 56.3GJ、灯油給湯器・風呂が 50.2GJ と多く、ガス給湯機器は 28.4GJ。これは、エネファーム世帯などは戸建て、世帯人数が多いことを反映していると見られます。全体平均は 31.2GJ。

全体の 1 世帯あたりの年間 CO2 排出量（3.04 トン）は前年度調査より ▲5% 減少しました。二重サッシ・複層ガラス窓の有無などといった住宅属性や、冷蔵庫、照明等の機器の使用状況など、詳細な要因分析は確報値で明らかにされる見込みです。

給湯器機器・システム別 1 世帯あたり CO2 排出量

**台風 15 号・19 号来襲、19 号で容器流出埋没多数**

記録的な強風をともなった台風 15 号（9 月 8～9 日）と、北側に長く伸びる雨雲をともなったスーパー台風 19 号（10 月 12～13 日）が来襲しました。15 号では、特に千葉県で強風（最大風速 45m）による屋根などの家屋損壊が多数発生するとともに、樹木、鉄塔、電柱倒壊による停電が 17 日間に及びました。

19 号では、東海・関東から東北にかけて記録的な大雨（24 時間降雨量：箱根町 940 mm 超）が襲い、71 河川 135 カ所で決壊、271 河川で越水が発生。死者・不明者は 100 人近くに達しました。内閣府等によれば、15 号での LP ガス被害（供給支障）はありませんでしたが、19 号では「6 充填所が浸水、また 200 本以上の容器が流出・埋没した模様」（（一社）全国 LP ガス協会）で、回収作業が進められています。

■容器流出防止対策（充填所等容器置場、お客様軒先）

日本 LP ガス団体協議会「容器置場における容器転落・転倒及び流出防止措置指針」が 2018 年 10 月に改訂され、これを受け（一社）全国 LP ガス協会は同 11 月、会員事業者・事業所等に、充填所だけでなく、販売店容器置場・軒先容器の流出防止対策も徹底するように要請をしています。

- ① 自社事業所、お客様所在地の地方自治体ハザードマップをもとに、浸水等のリスク（水位）等を確認する。
- ② これに基づき、各容器置場の周囲の状況を鑑みて流出リスクを見積もり、高・中・低区分に分類する。
- ③ 高・中リスク容器置場における実施対策
 - ・ 高リスク容器置場：容器置場周囲に浸水に耐えうる強度の壁構造、またはシャッター構造、または金網構造等を設置する。困難な場合は、網ネットをフック等に固定することで容器の浮上を防止する。
 - ・ 中リスク容器置場：ロープ、または鎖、もしくはラッシングベルト、角リング等により固定する。
- ④ ほか、容器台帳の破損・流出に備え、二元管理を徹底する。また、高リスク容器置場では、発災前にリストを出力して備える。

容器・バルク貯槽出荷、20 年検査反映し 2 割増

溶接容器、バルク貯槽の生産実績が好調な推移を見せています。（一社）日本溶接容器工業会によれば、今年 1～9 月の出荷実績は、溶接容器が 1,246,531 本、バルク貯槽が 10,694 基で、溶接容器は +21.4%、バルク貯槽は +19.1% 前年同期を上回っています。バルク 20 年検査にともなうバルク廃棄や容器への置換えを反映していると見られます。

■バルク貯槽処理認定工場、3 工業増え 35 工場に

（一社）日本溶接容器工業会はこのほど、バルク貯槽処理認定工場一覧を公表しました。それによれば、前年度より愛知県、鹿児島県、沖縄県で新規認定が出たことから、全体では 35 工場へと増えました。

■中工 FRP 容器、20kg 型来春発売、7.5kg は再検査 5 年に

中国工業は 9 月 5 日、「プラコンポ 20kg」（20kg 型 FRP 容器）の販売開始を当初予定よりやや遅れる 2020 年 2 月とし、もった最終確認テスト、生産ラインの整備・調整などを急いでいると公表しました。これより前（8 月 30 日）、同社は「プラコンポ 7.5kg」（7.5kg 型 FRP 容器）の再検査期間を 5 年に延長する特別認可を、経済産業省から同 23 日付けで取得したと公表しました。

11 月プロパン、CP430.00 ドル、MB240.40 ドルに

11 月積み込み CP（サウジアラビア輸入 FOB 価格）は、プロパン（P）はトンあたり 430 ドル、ブタン（B）は 445 ドルにすると輸入元売各社に通知がありました。前月に比べ P は +2.38%、+10.00 ドルの上昇、B は +2.30%、+10.00 ドルの上昇。一方、米・モントベルビュー（MB）の 11 月適用プロパン価格（OPIS 社発表）は 240.40 ドルで、前月に比べ +2.61%、+6.11 ドル上昇しました。

★重要なお知らせ**本紙「Obbli HEADLINE」は、2020 年 1 月配信分より****FAX 配信からメール配信に全面切り替えとなります。**

お手数ですが、配信希望のメールアドレスを以下 URL よりご登録ください。
※すでにメールアドレスをお知らせいただいている販売店様のご登録は不要です。

※ご不明点がございましたら、オブリ担当セールスにご連絡ください。

<登録フォーム>

<https://obbli.info/obbli/>

※パソコンおよびスマートフォンからご登録ください。

